

5月28日3限目 成人看護学Ⅲ 授業資料です。

▶ 表 6-7 急性腎不全・腎障害の原因と関連する病歴

	分類	原因	注意すべき病歴
腎前性	腎血流量低下	体液欠乏(脱水) 心不全 薬物	食欲不振, 下痢, 嘔吐, 血圧低下 心疾患の既往, 呼吸困難, 浮腫 利尿薬, 非ステロイド系消炎鎮痛薬(NSAID), ACE阻 害薬, ARBの服用
腎後性	尿路閉塞	前立腺肥大, 神経因性 膀胱, 骨盤内腫瘍など	排尿異常, 泌尿器科疾患や婦人科がんの既往
腎性	腎疾患特異的	急速進行性糸球体腎炎 急性間質性腎炎 血栓性微小血管症 腎内小動脈塞栓症 骨髄腫	血尿, 発熱, 食欲低下, 貧血症状 発熱, 皮疹, 薬剤投与歴 血圧異常, 薬剤投与歴, 膠原病やがんの既往歴 血管内治療歴, 足趾のチアノーゼの有無 腰痛, 夜間尿(高Ca血症による)
	非特異的	虚血 腎毒性物質 炎症	ショック, 大手術後 薬剤投与歴(造影剤, 抗がん薬, 抗菌薬) 敗血症の合併

(坂尾幸俊・加藤明彦: 現病歴を聴取するときの注意すべきことは何ですか. 野入英世編: 急性腎不全・AKI 診療 Q & A
中外医学社, 2012 による, 一部改変)